

地域の問題に取り組む起業家と応援者たちの交流会

第7回 フラスコサロンへのお誘い

せんだい・みやぎ NPO センター「フラスコおおまち」では、ソーシャル・ビジネスで目ざましい実績を上げた方や、各分野の専門家をゲストにお招きし、社会起業家とその卵たち、応援者たちの交流会を行っています。

第7回目のゲストは、「一般財団法人 共生地域創造財団」の葩島一匡さん。廃棄される食料を必要とする人たちに結びつけるフードバンクで有名なセカンドハーベストジャパンを経て、現在は震災復興の活動にご尽力されています。

葩島さんを囲み、NPO で働くことの生々しい実態、そして漁業、農業の支援を通して感じてきた「綺麗な復興計画」と現実のギャップや今後の希望について、語り合しましょう。

テーマ：フードバンクの専門家と語らう、2つの現実

～非営利組織で働くことの現実、被災地の漁業・農業の現実～

◆日時：2012年 2月7日(火) 19:00～21:00

◆定員：20名

◆会場：フラスコおおまち 仙台市青葉区大町 2-6-27 岡元ビル7F

◆参加費：500円 飲み物・お菓子付き

*フラスコ会員、MSBN(みやぎソーシャルビジネス・ネットワーク)会員は無料

葩島 一匡 さん (一般財団法人 共生地域創造財団 現地対策本部 事務局長)



1977年、東京生まれ。水産貿易関連の会社に就職し、約4年間の勤務を通して一次産業への興味を深め、宮崎県の農業法人に転職する。その後さまざまな経験を経て、フードバンク活動を手がけるセカンドハーベストジャパンへ。

東日本大震災直後に被災地に入り、物資の支援を中心とした緊急対応に尽力する。その後、各地で困窮者支援を行ってきたホームレス支援全国ネットワークと、西日本に展開するグリーンコープ共同体、主に東日本を中心とする生活クラブ生協の3団体が被災者支援共同事業体として組織された「一般財団法人共生地域創造財団」の現地対策本部事務局長に就任。

現在は産業復興支援や被災者の見守り支援を中心として活動している。

◆申し込み方法：

参加ご希望の方はメールかファックスにて、2月5日(日)までにお申し込みください。

その際、①お名前・②ご所属(会社名、団体名等)③連絡先(電話、メールアドレス)をお知らせください。

E-mail nakajima@minmin.org FAX 022-399-6092

◆問い合わせ先：TEL 022-399-6091 (担当：中島、小川)

特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター
〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 2-6-27 岡元ビル4F
TEL:022-264-1281 FAX:022-264-1209
E-mail:minmin@minmin.org HP:http://www.minmin.org